



「新型コロナ対応で、体だけでなく、心の疲弊も想定内にしていく」対応が求められている教育現場に、サポート通信「つなぐ」は、少しでも支えのよりどころになっているのか、考えながらの編集となりました。

昨年度は95ケース、本年度は11月末現在で70ケースについて、保護者と共に「サポート情報」を作成し、学校現場へ届けました。その際には、心ある対応をいただき、大変感謝しています。

サポート情報について、記載内容、情報の取り扱い等、周知の進んでいない点について、ご説明します。

記載内容には、「相談を進める際に、参考になる情報が詰まっている」と、自負しています。

ただ、「『サポート情報』は、完全無欠な、子ども対応マニュアルではありません。保護者との相談で、相談を充実させるための一つの資料です。そのことをご理解いただけるよう、項目ごとに説明を加え、利用価値について述べていきます。※裏面にサポート情報の形式有

●保護者の願い、本人の願い

相談は、相談をしに来た方の思いに寄り添うことから始まります。決して、相談を受ける側の思いを伝える場ではありません。

保護者は、思いの完璧な実施を望んでいるわけではありません。まず、できないかどうかはさておいて、思いに共感するための情報の欄です。保護者の思いの実現に向け、真摯に向き合うベースとなる共通認識の欄になっています。記載内容は、どの子どもにも当てはまる保護者共通の願いでもあります。

●こどもの様子

記載内容ごとに、その利用価値を説明します。相談時における子どもの情報を記載するように努めました。ですから、就学時には変化していることも多くあると推察します。「どうしたら、そのように変化したのか」を知ることが、子ども理解の上で、重要な情報になってきます。

「変化がマイナスならばその方法はしなればい、変化がプラスならばその方法は有効に活用できる」というわけです。

○好きなこと・得意なこと

子どもの好きなこと、得意なことを知ることは子どもとの関係作りに必要な情報だと考えます。苦手なことばかりの学校生活では、子どもは楽しくありませんし、教師の側も子どもの良さを感じ取ることは難しいものです。この欄には、子どもとの関係作りのきっかけが記載されています。また、教材開発に、子どもが



興味を持ってそうな情報にもなると考えます。

○基本的な生活の様子

学校生活を進めていくうえでの基本情報です。一般的に生活の自立はできていても、「状況により変化する」ことがあります。

例えば、排泄の自立です。「トイレに行けば自分で始末ができて、授業中に尿意を催し自分で申し出ることができるか」という、関係作りの一面があるからです。

相談時からの経過月日で、状況が大きく変わる項目が多くあります。また、変わりにくいことも項目によってはあります。

○学習の準備

小学校で学習を進める際に、必要な情報と考えます。相談時に、「お子様の『読み書き・計算』についてどのような状況ですか」と質問をしています。どの保護者の方も学習についていけるか心配をし、「読み書き・計算」は少しでも伸ばしておこうと苦心しています。

その苦心の様子と子どもの状態を行間に読み取っていただけたら、入学後は、子どもの状況に応じた対応が想定しやすくなると考えます。

○苦手なこと：家庭や園での配慮と支援

苦手なことであるが、家庭や園ではどのような「配慮や支援」で対応しているのかといった情報が記載されています。全部が小学校教育現場で有効に働くかは確約できませんが、保護者や園ではそのような対応をすると、対象児の行動が修正しやすくなるという事実はあるようです。



●学校における配慮と支援（案）

この欄は、個別検査結果から推測される対象児の「得意と苦手」をベースに、「配慮と支援」の案を作成しています。本年度から、保護者承諾で「個別の検査結果」、医療センターで作成を手伝った「サポートブック」を添付しました。※サポートブックは未作成の場合がある

また、この欄は、医療センターにおける「治療プログラム」の一部と連携をしている情報でもあります。さらに、発達段階を踏まえれば、他の子ども達にも有効な「配慮や支援」であると考えます。

保護者には、「担任さんはすべてに目を通してくれると思うけれど、学級には他の子どもも在籍し、担任なりの『配慮や支援』を考慮している場合があります。通常学級の担任との相談では、子どもの状況に合わせた手立て、1～2個を優先していく話し合いができるといいですね」と伝えてあります。

サポート情報		氏名	岡崎 花子		性別	女	生年月日	2015年4月2日	サポート情報の提供			
こども発達相談センター		ふりがな	おかざき はなこ		園名	菅生 保育園			○			
		就学先	菅生 小学校						○			
〒	444-0011	住所	岡崎市 十王町9丁目		電話	090-1111-1111		家族構成	父・母・祖母 姉・弟			
		保護者名	岡崎 太郎		本人の願い	楽しく、遊びや運動、学習ができるとうれしい。		就学の希望	通常の学級で、本人の状態に応じた配慮をいただきたい。			
の保護者の願い	本人が力を十分に発揮し、学校で学習や生活が安定するように、配慮・支援をしてほしい。特に、友人との関係づくりに配慮をしてほしい。うまく自分の気持ちを伝えることができるようになってほしい。											
こどもの様子					学校における配慮と支援（案）							
得意なこと	<p align="center">●こどもと関わるため、重要な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> こどもと関わるための基本情報 教材や単元の開発に必要な情報 <p>：対象児の興味関心はどこに？ ：声掛けや褒めるきっかけはどこに？</p>				<p>個別の検査結果から推測される「得意なこと」「苦手なこと」を把握し、本人の努力では、うまくいかないことなどを予測し、学校の生活、授業の中で、どのような「配慮や支援」を行っていったらよいかのアイデアを提案する</p> <p>【例】 ・座席の位置 ・感覚の過敏さとその対応 ・不器用さからくる書字への支援 ・ワーキングメモリの量を考慮した配慮</p>							
基本的な生活の様子	<p align="center">●小学校生活で、支援が必要かを把握</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食で配慮が必要かどうか トイレの利用に関すること 着替えの場面ではどうか 遊びはどのような状況であるのか その他、生活場面で気になること <p>：偏食、アレルギーの有無 ：どの程度の支援が必要か ：感覚の過敏さ(音、視覚情報など) ：運動に関すること など</p>				<p align="center">【「サポート情報」の取り扱い配慮事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保護者との教育相談にご活用ください。 ●「こどもの様子」は、サポート情報作成時の状況です。学校での相談時の状況との相違をご確認ください。 ●「こどもの様子」は、保護者の申告により子どもの状況を把握したもので、相談担当者が観察等を行って、子どもの状況を把握してはなりません。 ●「学校における配慮と支援【案】」に記載された内容は、個別の検査結果、園や家庭での行われている対応の様子、医療センターにおける知見等を参考にしています。 ●「学校における配慮と支援【案】」は、所属する学級の児童数や状況等もあり、保護者と優先順位を相談する資料と考えます。 ●「学校における配慮と支援【案】」に記載されることは、対象児にとって有益な情報であるとともに、他の児童の発達を考慮すると他の児童へも有効な情報となる場合もあります。 ●「学校における配慮と支援【案】」は、子どもの成長に伴い、記載事項が当てはまらないこともあります。 							
学習の準備	<p align="center">●小学校での学習に必要な状況の把握</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「～の状況ならできる」も可 ひとつずつ配ることができる ハサミが使える <p>・10までの数唱ができる ・多い少ないが分かる ・昆虫や恐竜の図鑑を読む</p>											
苦手なこと	<p align="center">●小学校で参考となる園や家庭での対応</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前に、あとどのくらいでやめることになるのかを伝える 全体指示のあと、状況に応じて個別支援をする <p>：あと何回 ：時計の針が〇〇まで ：出かける時間、場所を伝える</p>				添付	検査結果	○	サポート情報の提供	医療センター	○	記入年月日	2021/〇/〇
						サポートブック	○		教育相談センター	○	記入者名	〇〇 〇〇

保護者了解を得て、該当の資料を学校へ送付：↑上記欄に○の場合 ↑上記欄に○の場合は、保護者了解を得て、「サポート情報」を送付。